

## 公益信託うつくしま基金 第6回後期助成活動実績報告書 (ホームページ公表用)

平成21年 4月14日

## 1 実績報告者

助成受給者 (団体)名	(71ガナ) トクテイヒエイリカツドウハウジンカンキョウホゼンカイギアイズ 特定非営利活動法人環境保全会議あいづ
----------------	---

## 2 活動名称

環 境 配 慮 型 の 地 域 づ くり を 目 指 し た 森 林 資 源 、 遊 休 農 耕 地 等 バ イ オ 資 源 活 用 に 関 す る 調 査 研 究
---

## 3 助成コース・助成額・活動期間

助成コース名	スタートアップ支援コース (10万円以下)		助成額	事業費総額	
	※助成を受けたコースに○印を付け、助成額・事業費総額(実績)を記入して下さい	○			100年後も…いきいき ふくしま うつくしま (県民運動) 実践コース
		※県民運動実践コースの場合は右記のどの重点テーマに該当する活動か、該当するものに○をつけて下さい。			
		○	地域コミュニティの再生		
		○	子育てしやすい環境づくり		
活動期間	平成20年10月 1日 ~ 平成21年 3月31日				

## 4 実施した活動の実績・成果

<p>(1) 実施した活動の内容</p> <p>① 会津美里町における森林の植生など、森林環境に関する資料収集を行った。</p> <p>② 会津美里町における農耕地に関する資料の収集を行った。</p> <p>③ 会津美里町農林課担当者と本会担当者で検討会を開催し、意見交換を行った。</p> <p>④ 遊休農地を中心に、現地調査を行い写真撮影など資料調査を行った。</p> <p>⑤ 減反農地を活用する活動を行っている「東尾岐エゴマ栽培研究所」「博士山赤そば生産者組合」と、それぞれ懇談会を開催し、聞き取り調査を行った。</p> <p>⑥ 酪農家の聞き取り調査も行った。</p> <p>⑦ 遊休農耕地の活用を目指し、東北大学大学院農学研究科教授 両角和夫先生を講師に「米は地域資源～地域環境ビジネスと今後の課題」と題する講演会を開催した。</p> <p>⑧ 調査結果活用のための意見交換会を行った。</p>
<p>(2) 活動の成果</p> <p>① 会津美里町農林課担当者を含む検討会を3回開催し、意思疎通を図ることができた。</p> <p>② 遊休農耕地などの現地調査では、延べ25名が参加し、地域農業者多数の聞き取りが行われ、地域農業者との意思疎通が図られた。</p> <p>③ 積極的に減反農地を活用している地元の活動は、貴重なものであったが、課題も多く抱えており、何らかの援助が必要なことが明らかになった。</p> <p>④ 両角先生による講演会には、町長を含む51名が参加し、遊休農耕地活用の重要性とその方向性について多くの町民・農業者に関心が広がった。</p>
<p>(3) 今後の課題</p> <p>食糧自給率の低下と世界の食糧不足が問題となっている今日、優良な農地が放棄され、荒地になっている現状は、極めて重大な問題である。今回の調査研究では限られた時間のため調査ができなかったが、山間地の耕作放棄地はさらに大きな問題を含んでいるといわれている。</p> <p>水田が持つ多様な環境保全機能を考えれば、水田は飼料米や工業米(バイオエネルギーを含む)の生産地として活用されることが望ましい。そのためには、畜産農家と水田所有者の連携を図るなどのコーディネーターが必要であろう。工業米の利用方法の確立も必要である。また、森林資源の再生とバイオエネルギー源としての有効活用について地域を挙げて取り組む必要がある。</p> <p>今後も引き続き、これらの課題解決のため取り組んでゆく予定である。</p>

# 【 活動実績（写真） 】

助成受給者 （団体・グループ）名	特定非営利活動法人環境保全会議あいづ
---------------------	--------------------



平坦農地（寺崎北田）にわずか観察された休耕田



中山間地（無量地区）に多くみられる休耕田



畜産農家の聞き取り調査風景



現地調査途中での農業者と懇談風景



東尾岐エゴマ栽培研究所長の聞き取り調査



博士山赤そば生産者組合長の聞き取り調査